

令和元年度 園自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年3月31日

学校法人 吉祥学園
認定こども園 水沢こども園

1. 本園の理念、教育・保育目標、教育・保育方針

- 理念 たくさんの経験、活動を通し、他を思いやる気持ちを育て、又、ひとりひとりがより良く強く生きる力、意志を持つように育てる
- 教育・保育目標
 - ・じょうぶな子…健康で明るく元気なたくましい子を育てます
 - ・がんばる子…遊びに意欲をもって取り組み、試したり工夫したりしながら、最後までやり通す力を育てます
 - ・やさしい子…友達との遊びの中で様々な体験をし、思いやりと豊かな感性を持つ子を育てます
- 教育・保育方針
 - 1 発達段階に応じた環境を整え、興味や関心を広げ、心情、意欲、態度等生きる力の根底となるものを育て、就学に接続し小1プロブレム等が生じないようにしていきます
 - 2 家庭と連携し、保護者の家庭での養育力の向上を支援します
 - 3 専門性を生かして、教育と保育の一体的なあり方を実現します
 - 4 地域の人と共に子育て支援を実施します

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼児が安全に過ごす為“ヒヤリ・ハット”を中心に据えながら、ひとりひとりの幼児を大切にしたい質の高い教育・保育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育計画に照らし合わせ幼児が安全に健やかに成長する為の保育を行なっているか、常に振り返り次への手立てを実践していく	A	幼児ひとりひとりの全体的な姿や遊びを通した活動、生活の場面でみとり振り返り、次への手立てを考え、見通しを持った保育実践を行なった。
2	“ヒヤリ・ハット”をおこさないよう研修を充実し、万一おきてしまった場合は早急に改善する	B	◎園での薬の服用について ・誤飲を防ぐ為薬の受け取り方、投与の仕方、投与後の保護者への報告の仕方を改善した。 ・シロップは冷蔵庫保管とした。 ◎人的、物的危険を予測し、それを防ぐ事のできる環境構成、保育を行うよう努めた。
3	幼児が安全に過ごし、教育・保育の質の向上の為、園内研修を充実させる	A	毎日、保育教諭が自分の保育と幼児の姿をみとり、教育・保育計画と照らし合わせ、手立てを各自行ないながら、次への手立てについては定期的に研修を行ない質の向上を図った。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
A	3つの評価項目について取り組んだ結果、幼児が安全に過ごし、ヒヤリ・ハットを防ぎ、ひとりひとりの幼児を大切にされた質の高い教育・保育の実践ができた。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組むべき課題

安心・安全を保障しつつ、ひとりひとりの発達を促すような保育環境を整え保育の質の向上を図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ① 園自己評価の結果の内容、今後の改善方策、重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等、学校運営の改善に向けた取組は適切であることを評価します。
先生方が力を合わせて子どもの教育活動にあたっていると思います。
- ② かなり細かい点にも配慮しながらの保育をしていると思います。家庭で自分の子を見るよりも細かく心配りをしていると思います。保護者もそれをあたり前だと思わず感謝する気持ちを持ってくれるとよいのですが。
- ③ 全体的に適切に対応していると思います。
- ④ 園の運営に対して適切に評価されていると思います。
次年度に対しての目標もきちんと計画されていると思います。